

動物病院で治療を受けると、ペットの体調を心配すると同時に費用と期間に不安を抱く方も多いはず。実は、獣医師も同じです。「この子を治すためには、この治療法が良いけれどお金も時間もかかる。どう伝えようか」と悩みます。治療方針を決めていく上で、治療費は無視できない重要な判断要素なのです。

そもそも、ペットの治療費はどのくらいかかるものなのでしょう。アニコム損保の調査では、1年間にかけた平均治療費は犬で約7万4506円、猫で約4万5712円でした。ワクチンなどの予防費用も含めると犬では年間10万円以上になります＝表。さらに、大き

あ
ん
し
ん
！
ペ
ツ
ト
ラ
イ
フ
⑦④

ペットの治療費、どのくらい？

な手術や長期の入院をすると一度に数十万円かかってしまうことも珍しくありません。

そのため、治療前に予算をしっかりと獣医師に伝えることが重要です。実は獣医師も、伝えられることで診療がやりやすくなる場合があります。治療前に、あらかじめ費用面

で合意しておくとの後のトラブルを避けることができます。

逆に「どのくらいお金がかかりますか？」という質問は、獣医師にとっては答えづらい質問です。さまざまな薬や治療法がある中で何を選択するかにより大きく異なるからです。その場合は最高から最低ランクまで、それぞれの費用をたずねてみると良いかもしれません。ペットにも家族にも満足のいく治療ができるよう、十分に話し合ひましょう。

(アニコム損保
獣医師 小川篤志)

	病気・ケガの治療費	ワクチンなどの予防費
犬	7万4506円	2万7311円
猫	4万5712円	1万3391円

※出典「アニコム 家庭どうぶつ白書2013」